

東北へ！元気と希望の「輪」を！

～ 豊島区から東北へ再生自転車を届けます ～

豊島区は、本日、岩手県盛岡市に対して、東日本大震災により仮設住宅に入居している被災者用に、再生自転車 130 台を提供した。このうち 85 台の整備は、官民協働刑務所である「島根あさひ社会復帰促進センター」（以後促進センターと表記）で行われたものだ。

本区では、開発途上国の看護師や保健師等らの「母子保健活動」での交通手段に活用してもらうため、引き取り手のない放置自転車を再生し、無償で提供する「再生自転車海外譲与事業」を 20 年以上続けている。

区では再生自転車の整備を区内自転車商組合やシルバー人材センターに委託をしているが、促進センターがこの海外譲与事業を知り、受刑者の教育プログラムに自転車の再生整備を組み込みたいと法務省を通じて本区へ打診した。協議の結果、同センターに整備を委託することとなり、整備を終えた 85 台が本年 5 月 19 日に本区へ搬入された。

区は、促進センターから、今回整備された再生自転車を東日本大震災への復興支援に活用してほしいとの提案を受け、東京都を通じ要請のあった盛岡市への提供を決定した。

豊島区はこれまでも復興支援として再生自転車を宮城県石巻市と福島県いわき市へ計 150 台を届けており、被災地への提供は今回で 280 台の提供になる。

今後も、被災地からの要請があった場合には、可能な限り提供したいと考えている。

豊島区より盛岡市へ再生自転車の提供

- ◆日程：平成 23 年 6 月 15 日（水曜日）
- ◆受け入れ先：岩手県盛岡市
- ◆提供台数：再生自転車 130 台
（島根あさひ社会復帰促進センター整備分 85 台含む）
- ◆島根あさひ社会復帰促進センター整備自転車には下記シールを貼付している。



積み込みの様子 1



積み込みの様子 2

